

議会

124

9月定例議会号

だより

令和2年11月

発行 佐呂間町議会



TOPIC

令和元年度、町はどんなことにお金を使ったのが徹底審議

決算審査特別委員会 質疑の中から

町政について議員が問う

一般質問「新型コロナウイルス感染症による林産業への影響について」など

まちで輝いている人たちを紹介します

みんなの笑顔でまちを元気に！「佐呂間町サッカー協会」の皆さん

「ぎっこんぱたん・シーソーでジャンプ！」

児童公園に新しい滑り台とシーソーが設置され、子供たちが毎日元気に遊んでいます。

(令和2年10月2日撮影)



さろま

あなたと町議会を結ぶ情報誌

町議会URL <https://www.town.saroma.hokkaido.jp/gikai/>

第3回定例会

・審議した議案②

第3回定例会が9月23日から30日の間で開催され、議案12件、同意2件、諮問1件、認定1件、報告1件、意見書3件の審議を行い、より詳しく審議を行うため特別委員会へ付託となった議案「第5期総合計画の策定」を除き、原案のとおり可決しました。

第3回定例会

・審議した議案①

武田新町長、就任後初の町議会を開催 所信表明にて今後の町政の方針を語る

令和元年度各会計の歳入歳出決算を認定

審議した議案

予算

■令和2年度一般会計補正予算（第5号）

811万円が追加され予算の総額が64億4252万円になりました。

【主な歳入】

・地域介護・福祉空間等施設整備交付金 618万円

・財政調整基金繰入金 ▲1700万円

・臨時財政対策債 1823万円

【主な歳出】

・地域介護・福祉空間等施設整備事業費補助金 618万円

・代替人夫報酬（佐呂間保育所分） 241万円

・介護保険特別会計会計繰入金 ▲510万円

■令和2年度公共下水道特別会計補正予算（第1号）

140万円が追加され、予算の総額が2億4430万円になりました。

【主な歳入】

・前年度繰越金 140万円

【主な歳出】

・漁業集落環境整備事業工事 140万円

■令和2年度介護保険特別会計補正予算（第1号）

183万円が追加され、予算の総額が5億2595万円になりました。

【主な歳入】

・介護給付費交付金過年度分 218万円

・介護給付費負担金過年度分 368万円

・介護給付費繰入金 ▲522万円

【主な歳出】

・国庫負担金等返還金 183万円

■令和2年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）

8万円が追加され、予算の総額が9145万円になりました。

条例

■町防災行政無線施設の設置及び管理に関する条例の制定
防災行政無線は現在、来年3月末の供用開始に向け施設の整備が進められています。その円滑な運営を図るため、事前に施設の設置及び管理に関する条例を制定するものです。

■町税条例の一部改正

経済社会の構造変化を踏まえた個人住民税における未婚のひとり親に対する制度上の措置及び寡婦（寡夫）控除の見直し等を行うため、地方税法等の一部改正が、令和2年3月31日に公布されていますが、そのうち10月1日以降に施行される所要の規定の整備等を行うため、町税条例の一部を改正するものです。

その他

■北海道市町村職員退職手当組合規約の変更

■北海道市町村総合事務組合規約の変更

■北海道町村議会議員公務災害補償等組合規約の変更

町が加入している各組合において、加入団体の解散・脱退に伴い規約の変更が必要になったものです。

■第5期総合計画の策定

令和3年度から令和12年度までの、本町の基本指針となる第5期総合計画について、策定審議会における審議が終了し、令和2年7月17日に策定審議会から町長へ最終答申が行われたことから、本定例会において議会に対し第5期総合計画が提案されました。

提案された第5期総合計画について、より詳しく審議するため、第5期総合計画審査特別委員会に審査を付託することとし、議会閉会中に継続審査することを決定しました。

同意

■副町長の選任同意

町長の職務を補佐する副町長として、次の方の選任について同意しました。

◎西富 玉井伸一氏

任期については令和2年10月1日から令和6年9月30日までの4年間となります。

■教育委員の任命同意

教育委員として、次の方の再任について同意しました。

◎幸町 江刺徳明氏

任期については令和2年10月14日から令和6年10月13日までの4年間となります。

諮問

■人権擁護委員候補者の推薦

法務大臣から委嘱を受け、各市町村で人権相談などの活動を行う人権擁護委員として、次の方を法務大臣へ推薦するため、議会に意見を求められ適任といたしました。

◎西富 池田弥奈氏

意見書

■道教委「これからの高校づくりに関する指針」を抜本的に見直し、すべての子どもにゆたかな学びを保障する高校教育を求めめる意見書

道教委が平成30年3月に策定した「これからの高校づくりに関する指針」は、地域の要望や実態を踏まえたものとなっていないことから、実情にそぐわない「指針」を抜本的に見直し、地域の高校存続を基本に、希望するすべての子どもにゆたかな学びを保障する高校教育を求めめる意見書

を可決し、北海道知事などに提出しました。

■新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求めめる意見書

新型コロナウイルス感染症の拡大は、甚大な経済的・社会的影響をもたらしており、今後の地方税や地方交付税等の激減は避けられない状況となっていることから、国において地方の安定的な財政運営に必要な地方税や地方交付税等の確保・充実などを求める意見書を可決し、衆参両院議長及び関係大臣宛に提出しました。

■国土強靱化に資する道路の整備等に関する意見書

北海道では自然災害による交通障害、多発する交通事故、道路施設の老朽化などの課題を抱えているが、地方財政は依然厳しい状況にあることから、国において道路整備の推進や管理の充実・強化を図ることを求める意見書を可決し、衆参両院議長及び関係大臣宛に提出しました。

第3回定例会

・町長行政報告

第3回定例会

・審議した議案③

認定

令和元年度の各会計決算を審議

令和元年度各会計歳入歳出決算認定

令和元年度の各会計決算が提出され、決算審査特別委員会に付託して審議することとし、9月24日開催の委員会において審議した結果、委員会としては原案認定となりました。

翌週29日に開催された本会議において、船木決算審査特別委員会委員長から各会計決算を認定する旨の審査結果報告がなされ、採決の結果、全会一致で決算を認定しました。

詳細については6～7ページの「決算審査特別委員会」をご覧ください。



報告

健全化判断比率及び資金不足比率

令和元年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率について、監査委員の審査意見書とともに報告がなされ、財政健全化審査については、一般会計が赤字のため【実質赤字比率】及び【連結実質赤字比率】においては比率なし、【実質公債費比率】も早期健全化基準の25%を大きく下回る6.4%であり、【将来負担比率】も算定されないことから、本町の財政は健全であるといえます。

また、経営健全化審査では、簡易水道及び公共下水道特別会計とも資金不足比率はなしで、現段階では2つの企業会計とも経営は健全であるといえます。

「健全化判断比率」
地方公共団体の財政状況を客観的に表し、健全化や再生の必要性を判断する、4つの財政指標の総称。

「資金不足比率」
公営企業の資金不足額を料金収入と比較し、経営状態の悪化の度合いを示す指標。

健全化判断比率 (単位：%)

実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
-	-	6.4	-
(15.0)	(20.0)	(25.0)	(350.0)

() 書きは早期健全化基準

資金不足比率 (単位：%)

特別会計の名称	資金不足比率	備考
簡易水道特別会計	-	経営健全化基準
公共下水道特別会計	-	20.0



今後4年間、町政の舵取りを託された武田町長

武田温友町長 所信表明

8月30日の町長選挙において初当選された武田町長による所信表明が、9月23日の定例会初日に行われ、今後の町政における7つの基本政策が発表されました。

なお、9月29日に行われた一般質問では、これら基本政策に関する町長の考えをより詳しく聞くため、議員から質問が行われています。

(詳細は8～10ページの「一般質問」をご覧ください)



町長行政報告 (要旨)

■農業について

農作物の生育は平年より進んでおり、秋まき小麦は昨年引続き豊作、カボチャについても昨年並みの収量となる見込みで、ビートは8月の少雨により育成が停滞していますが、病害虫の発生は少なく、今後の安定した天候を願います。

飼料作物では牧草の一番草は平年並み、二番草は収量が少なくなっており、テナコーンは平年並みの収量が見込まれています。

酪農・畜産関係では平成30年度から大規模農業法人の搾乳牛の増頭が進み、本年も受託乳量は増加傾向にあります。

家畜の個体販売では、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により牛肉価格は前年を下回っておりますが、豚肉価格は家庭消費の増加により前

■漁業について

外海はたて漁業はD海区1万トンの漁獲計画に対し、9月14日時点で67.3%を水揚げしており、オホーツク海全体では昨年度実績31万7千トンに対し、本年度は31万1千トンの計画で操業しています。

浜値はキロ単価123円の計画に対し、平均単価125円で推移し、概ね計画を達成できる見込みですが、新型コロナウイルス感染症拡大による消費低迷、市場価格の変動など今後の市況及び輸輸出動向を注視しています。

生産増となったホタテ加工製品は昨年を上回る見通しです。

養殖はたて漁業の漁獲量は概ね計画通り1700トンが見込まれています。

ます小定置網漁業は9月5日終了し、漁獲量は対前年

■公共事業の執行状況

本年度、計画しております主な工事と委託の事業件数につきましては、64件で事業費の総額は9億700万円を予定しております。

現在までの発注状況は56件で7億2900万円であり、発注率は件数で88%、金額では80%となっております。

■後期高齢者医療制度における高額介護合算療養費の過大支給

後期高齢者医療制度及び介護保険制度の1年間の自己負担額の合計が限度額を超えた場合に、被保険者の負担軽減のため支給される高額介護合算療養費制度において、平成30年8月から令和元年7月までの支給分が正しい金額より多く算定されていることが判明しました。

これは本町の介護保険の自

■己負担額について誤って算出した数値を報告していたため、後期高齢者医療制度から支出される分について、本来の金額よりも多く算定され、本年6月30日及び7月30日に該当する被保険者に支給されました。

現在、北海道後期高齢者医療広域連合による再計算の結果を待っています。過大支給の対象者は約67世帯71名、返納総額は50万円と予測され、対象者から広域連合に対し過大支給分を返納する必要があります。正式な対象者と返納額が決定次第、改めて詳細と対象者への対応などを報告いたします。

過大支給の対象者の方々には、このような事態を生じさせたことを深く反省するとともにお詫び申し上げ、再発防止に向け取り組み、対象者には誠意説明し、理解を得たいと考えております。

第3回定例会

・決算審査特別委員会②

第3回定例会

・決算審査特別委員会①

但木 学校給食について、農食材を活用しているようすが、冬期間はじゃがいもとキャベツだけになっており、もっと食材を広げていくことはできないのか伺います。

地元食材の利用拡大

農務課長 実習を行った農家が離農した際に、そこに居抜きで入りたいという話をしていた実習生が1名いると聞いています。

但木 実習を行った8名に就農に結び付く可能性はありますか。

農務課長 新規就農者対策として、農協へ補助金を80万円支出しており、農業フェアなどへの参加費、研修生受け入れの交通費、宿泊費等に充てられています。農業実習生については、新規就農・担い手受け入れ事業により8名の方が、1週間から2週間程度の実習を行っています。

但木 町の基金の運用に債券が用いられていますが、運用状況について伺います。

債券による基金の運用



地元の食材が利用されている学校給食

学校給食センター長 じゃがいもとキャベツは農協に保存を頼んでおり、利用できる期間が長いので、この2種類を多く使用しています。その他の食材については、できるだけ北海道産を多く使うなどの努力をしています。

決算審査特別委員会 9月23日・24日

令和2年9月23日開催の第3回定例会において、令和元年度一般会計及び6つの各特別会計の決算が提案され、議長及び議会選出の監査委員（高橋議員）を除く8名の委員で構成する決算審査特別委員会を設置し、付託して審査することを決めました。

9月23日に開催した特別委員会では委員長に船木議員、副委員長に土田議員を選任し、24日開催の特別委員会において審議を行った結果、全会一致で決算を認定すべきと決定し、特別委員会を閉会しました。

翌週9月29日開催の定例会本会議において、船木委員長から決算を認定すべきとの委員長報告が行われ、その後の採決で、全会一致で委員長報告の通り決算認定の議決を行いました。

9月24日に開催された決算審査特別委員会の質疑についてお届けします。なお、紙面の都合上、質問と答弁は要約しています。

図書館の利用状況

佐藤 図書館費について、昨年度の図書館の利用状況を伺います。

図書館長 昨年度の利用者1人当たりの図書貸出率（1人が何冊借りているか）は10.2冊で、過去10年間10冊前後で推移していることから、人口減少が進んでも図書の貸出はそれほど落ち込んでいないと考えています。

また昨年度の図書館利用者登録の人口に対する割合は43.9%で、移動図書館車及び団体への貸出を含めた1日当たりの貸出率は1日188.5冊となっています。なお、町民1人当たりの蔵書



人口が減少しても利用状況は変わらない図書館

新規就農対策の状況

但木 農林水産業について、昨年度の新規就農者対策の状況と、農業実習生などがどれくらい来ていたのかを伺います。

会計管理者 債券の運用は、安全性などを考慮して地方公共団体金融機構や国際協力機構の債券を購入して運用しており、昨年度末で14億円分の債券を保有しています。

「地方公共団体金融機構」 全ての地方公共団体の出資により設立された法人で、地方公共団体へ資金の貸付を行っています。

「国際協力機構（JICA）」 政府開発援助（ODA）により、開発途上国への援助を行う独立行政法人

会計管理者 債券を購入する際には、安全性を判断するポイントを設定し比較を行うほか、専門家の意見を聞くなど、常に安全性を考えて運用を行っています。

令和元年度一般会計
決算を徹底審議！

決算審査特別委員会

質疑の中から

決算審査特別委員会 委員長報告 (要旨)

令和元年度の財政状況等につきましては、継続してきた行財政改革の効果が発揮され、健全な状態となっております。

国・地方ともに債務残高が膨大化し、さらに新型コロナウイルス感染症により景気は急速に悪化する厳しい状況にありますが、本町の自主的・主体的なまちづくりを展開していくため、健全な財政運営を進めるべく努めています。

地方自治体を取り巻く環境は、財政・医療福祉などにおいて地域間格差が拡大し、依然として厳しい状況の中、今後の財政運営は、事務事業の費用対効果の検証・点検を行うとともに、国・道の助成制度の活用によるバランスを重視し、将来世代に過度の負担を残すことの無いように努めることを望むものであります。

令和元年度決算状況

区分	最終予算額	歳入決算額	歳出決算額	収支差引
一般会計	48億2,900万円	48億7,997万円	46億9,432万円	1億8,565万円
簡易水道特別会計	3億7,800万円	3億8,065万円	3億6,994万円	1,071万円
国民健康保険特別会計	8億2,858万円	8億3,029万円	8億2,712万円	317万円
公共下水道特別会計	2億908万円	2億1,010万円	1億9,833万円	1,177万円
介護保険特別会計	5億2,837万円	5億3,578万円	5億1,415万円	2,163万円
介護サービス事業特別会計	2億7,485万円	2億7,809万円	2億7,092万円	717万円
後期高齢者医療特別会計	8,974万円	9,008万円	8,925万円	83万円
合計	71億3,762万円	72億496万円	69億6,403万円	2億4,093万円

第3回定例会

・一般質問②

【答弁】(町長)
 町外の主要な医療機関に救急搬送される際に、それらの医療機関に通院歴がなくカルテがない患者は、受け入れ先の決定まで時間を要するケースもあります。
 そこでクリニックさろまに通院されている方が救急搬送を要請した場合、本人の同意の下で救急搬送先の医療機

【質問】
 「福祉・子育て環境の充実」の中で、85歳以上の高齢者と自動車運転免許返納高齢者を対象とした無料ハイヤー利用制度と、医療機関への入院時のハイヤー運賃の一部助成制度の創設をうたっています。この制度の創設をいつごろと考えているか伺います。

【答弁】(町長)
 超高齢者の足の確保は喫緊の課題であり、いつまでも住み慣れた家で健康に生活できる支援として、85歳以上の方と自動車の運転免許返納した高齢者の方を対象とした無料ハイヤー制度を作るため、今後ハイヤー会社と協議を行っていきます。
 また、今後増加していくことが予想されている高齢者世帯を支援する制度として、家族等の送迎者がいない高齢者が医療機関に入院する場合などに、ハイヤー運賃の一部を助成する制度が必要と考えています。
 この2つの制度は令和3年4月から事業をスタートしたいと考えています。

【質問】
 「町民が主役で暮らしやすいまちづくりの推進」について

- ① 医療体制と予防医療の充実
- ② 福祉・子育て環境の充実
- ③ 教育・文化の充実
- ④ 情報技術（ICT）の積極的活用
- ⑤ 地域基幹産業の活性化
- ⑥ 町民が主役で暮らしやすいまちづくりの推進
- ⑦ 人口減少の克服

【質問】
 「医療体制と予防医療の充実」の中で、「円滑な救急搬送受け入れと迅速的確な治療を…」とありますが、現状の救急搬送の課題とその改善の考えについて伺います。

【質問】
 「福祉・子育て環境の充実」の中で、85歳以上の高齢者と自動車運転免許返納高齢者を対象とした無料ハイヤー利用制度と、医療機関への入院時のハイヤー運賃の一部助成制度の創設をうたっています。この制度の創設をいつごろと考えているか伺います。

【答弁】(町長)
 超高齢者の足の確保は喫緊の課題であり、いつまでも住み慣れた家で健康に生活できる支援として、85歳以上の方と自動車の運転免許返納した高齢者の方を対象とした無料ハイヤー制度を作るため、今後ハイヤー会社と協議を行っていきます。
 また、今後増加していくことが予想されている高齢者世帯を支援する制度として、家族等の送迎者がいない高齢者が医療機関に入院する場合などに、ハイヤー運賃の一部を助成する制度が必要と考えています。
 この2つの制度は令和3年4月から事業をスタートしたいと考えています。

【武田町長七つの基本政策】
 9月23日に行われた町長の所信表明において、次の七つの基本政策が示されました。

町長の所信表明の中で示された七つの基本政策のうち、次の3点について伺います。

町長の所信表明にある「円滑な救急搬送」の現状の課題と改善の考えは

町長：「クリニックさろまと町外医療機関の連携を強化し、迅速に救急搬送されるシステムを実現したい」

【答弁】(町長)
 町民が主役で主体性を持つまちづくりが重要であり、まちづくりに対して活発な議論ができる町にしていきたいと考えています。
 そのためには人が集まる地盤を作ることが大切であり、地域や団体との意見交換の場を作り、その中から住民が主体となり、まちづくりを考える地域組織などを作っていくことが考えています。



但木早苗 議員

3名の議員が一般質問を行いました。
(紙面の都合上、質問と答弁は要約しています)

第3回定例会

・一般質問①

一般質問



佐藤昭男 議員

新型コロナウイルス感染症による林産業への影響について

【質問】
 新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、輸出用の梱包材や新築住宅の建材の需要が減少していますが、本町の町有林、民有林の木材価格への影響について伺います。

町長：「植えて、育てて、伐って、使って、また植える」を基本理念に進める

【答弁】(町長)
 本町の森林作業員は現在4名おり、町外の事業所に就労していますが、今後の木材価格の状況により伐採が減り、仕事が減る場合は、下草刈りなど森林保育作業に転換されることが予想されます。
 また、各木材加工場は製品需要の低迷に対し、操業計画の変更などで対応していますが、経営上可能な限り受け入れに協力いただいております。

【答弁】(町長)
 新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、国内の木材需要は減少していますが、本町の4月から8月までの森林組合出荷量は、前年に対して16.5%の増加となっております。民有林と町有林を合わせて昨年同様の生産量となる予定です。

【質問】
 森林作業員の仕事を確保するためには伐採を行うことが必要だと思えますが、木材加工場の対応について伺います。

【答弁】(町長)
 伐採量の減少は植林計画など森林の更新計画にも影響しますが、町全体の伐採量を計画的に確保し、森林の多面的機能を維持しながら、「植えて、育てて、伐って、使って、また植える。」を基本理念に、関係機関や山林所有者と協力して進めていきたいと考えています。

第4回定例会は12月に開催されます!!

日程の詳細は、町広報12月号の折込みチラシをご覧ください。



第3回臨時会

・審議した議案

第3回臨時会が9月1日開催され、議案2件の審議を行い、いずれも原案のとおり可決しました。

また、9月11日をもって任期満了により町長を退任される、川根章夫町長から退任の挨拶が行われました。

第3回定例会

・一般質問③

【主な歳入】

- ・新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 2億8,057万円
- ・プレミアム付商品券発行支援事業費補助金 1,200万円
- ・ふるさと応援事業寄付金 1億4,220万円
- ・高度無線環境整備推進事業費 1億2,000万円

【主な歳出】

- ・新型コロナウイルス感染症対策給付金 260万円
- ・プレミアム付全町共通商品券発行事業補助金 348.1万円
- ・学校保健特別対策事業費交付金 488万円

【主な歳入】

- ・ふるさと納税業務代行委託料 845.1万円
- ・高度無線環境整備推進事業費負担金 3億7,286万円
- ・新型コロナウイルス感染症対策給付金 260万円
- ・プレミアム付全町共通商品券発行事業補助金 348.1万円
- ・学校保健特別対策事業費交付金 488万円

【主な歳出】

- ①取得する財産
- ◎学習用タブレット 348台
- ・児童生徒用 348本
- ・教師用 52本
- ◎Webフィルタリングサービス 348本
- ◎クラウドアドバンス (デジタルドリル・教材集) 4式
- ②取得価格 5,055万円
- ③納入期限 令和3年3月31日
- ④取得の方法 指名競争入札
- ⑤売上の相手方 北見市卸町1丁目5番地 株式会社 小柳中央堂 代表取締役 小柳 亨信

【ふるさと納税の状況】

令和2年度のふるさと納税は、これまで以前年同期期の3倍以上の寄附が寄せられており、最終的な寄附総額は2億2,500万円と、当初見込んだ8,280万円を大きく超える見込みとなりました。

これは令和元年度の寄附総額1億6,784万円と比較すると、5,700万円ほど上回る見込みとなっています。

この寄附額の増加に伴い、クレジット決済の手数料や、返礼品発送等の業務代行委託料など、町が支出する経費も増加することから、関連する歳入・歳出予算の増額補正が行われました。

審議した議案

予算

全国から予想を上回る寄附が殺到！

ふるさと納税関連予算を増額補正

新型コロナウイルス感染症対策に関連する予算 4億1,858万円を予算補正



三田 真美 議員

所信表明にある「給付型奨学金制度」の現在検討している具体的な案は

町長：佐呂間高校の存続対策として考えているが、具体的な案については今後制度づくりを進めていく

インフルエンザ予防接種について

【質問】 高齢者は様々な疾患を持つ方も多く、インフルエンザに感染し重症化するリスクをなくするため、高齢者に対する予防接種を無料化することがいいと考えますが、町長の考えを伺います。

【答弁】(町長) 本町では、インフルエンザ予防接種費用の2分の1を限度額として助成を行っていません。

佐呂間高校への支援について

【質問】 町長の所信表明で、佐呂間高校から四年生大学への進学者に、年間50万円の給付型奨学金制度を創設したいとありましたが、現在検討している具体的な案について伺います。

【答弁】(町長) 将来の夢の実現には四年生大学だけではないとの意見も

核のごみについて

【質問】 核のごみ(高レベル放射性廃棄物)の最終処分場選定について、道内の2つの自治体が国の文庫調査への応募を検討しているようですが、町長の核のごみに対する考えを伺います。

【答弁】(町長) 核のごみについては安易に受け入れるべきではないと考えており、町長として文庫調査に応募する考えは全く持っていないと断言いたします。

議会ニュース

第3回臨時会

・議会の活動状況

・町長行政報告

町長行政報告

(要旨)

■新型コロナウイルス感染症対策

本町では2月28日に新型コロナウイルス感染症対策本部会議を立ち上げ、町独自の対策として第2回臨時会及び第2回定例会で議決いただいた、町民一人当たり10枚のマスク配布事業、40%のプレミアム付き商品券発行事業、飲食店用ふるさと商品券の無料配布事業、商工業者経営維持支援事業、学校ICT環境整備事業、学校給食費負担軽減事業、宿泊業活性化事業などを執り進めてきました。

今後の更なる対策として、

- ① 高度無線環境整備事業、② プレミアム付き商品券発行事業(第2弾)、③ 学校保健特別補助金事業、④ 新型コロナウイルス感染症対策給付金の4つの事業を行うため、今回の臨時会に補正予算を提案させていただきます。

町がこれから実施する 新型コロナウイルス感染症対策



- ① 高度無線環境整備推進事業
インターネットに接続する際に、現在は一部の地域しか利用できない光ファイバー回線を、令和3年3月までに町内全域で利用可能にする事業で、NTTが国の補助を受けて実施する工事に対し、町も負担金を支出します。
この事業により、町内全域で高速な情報通信が利用可能になり、今回のように感染症の蔓延などで学校が長期休校しなければならなくなった場合に、オンライン授業が実施できる環境が整備されます。
- ② プレミアム付き全町共通商品券発行事業(第2弾)
移動や外食の自粛に対する経済対策として、5月に40%のプレミアム付きふるさと商品券の販売及び飲食店専用のふるさと商品券5000円分の無料配布を実施しましたが、その第2弾として今回は道の補助金を活用し、プレミアム
- ③ 学校保健特別対策事業
町内の各学校に対し、感染症防止対策のため学校が独自の判断で使用できる予算を交付金として交付します。
また各学校の手洗い場の蛇口ハンドルをレバー式に交換するほか、エアコンの無い教室等に設置する移動式のスポットクーラー36台を購入し、各学校に配置します。
- ④ 新型コロナウイルス感染症対策給付金交付事業
新型コロナウイルス感染症の蔓延により、経営が圧迫されている町内の医療機関及び老人介護事業者等に対し、今後の感染第2波、第3波に備えてもらうため、一事業者当たり30万円もしくは10万円の給付金を支給します。

議会の活動状況

令和2年8月～令和2年10月

令和2年8月

- 8月11日(火)
・ 武部新衆議院議員への要望会及び意見交換会(北見市)
- 8月19日(水)
・ 遠軽地区総合開発期成会役員会及び意見交換会(遠軽町)
- ・ 北海道市町村職員退職手当組合第2回組合議定会定例会(札幌市)

9月11日(金)

- ◎ 産業文教常任委員会

9月16日(水)

- ◎ 議会活性化等特別委員会

9月18日(金)

- ◎ 議会運営委員会

9月23日(水)

- ◎ 町議会第3回定例会

9月24日(木)

- ◎ 決算審査特別委員会

9月28日(月)

- ◎ 議会運営委員会

9月29日(火)

- ◎ 町議会第3回定例会

9月30日(水)

- ◎ 町議会第3回定例会

9月30日(水)

- ◎ 議会広報特別委員会

令和2年9月

- 9月1日(火)
◎ 第5回全員協議会
◎ 議会運営委員会
- 9月6日(日)
◎ 町議会第3回臨時会
- ・ 自由民主党北海道第12選挙区支部政経セミナー(北見市)
- 9月10日(木)
◎ 総務福祉常任委員会



町議会第3回定例会の様子

令和2年10月

- 10月1日(木)
◎ 基本条例小委員会
- 10月13日(火)
・ 第3回遠軽地区広域組合議会臨時会(遠軽町)
- 10月16日(金)
◎ 議会広報特別委員会
- 10月29日(木)
・ 才ホーツク圏活性化期成会令和2年度北海道要望(秋季)及び管内選出道議会議員との意見交換会(札幌市)
- 10月31日(土)
・ 令和2年度自由民主党移動政調会(北見市)

川根章夫 町長 退任挨拶

川根町長が3期12年の任期を全うされ、9月11日をもって町長を退任されました。

9月1日に開催された第3回臨時会は川根町長が出席される最後の町議会となったことから、全ての議案審議が終了した後、川根町長から町議会に対し退任の挨拶が行われました。

これに対し町議会を代表して吉野議長から、川根町長のこれまでの町政への貢献に対する感謝の言葉が送られました。



3期12年間にわたり町長として尽力された川根町長

議会懇談会

中止のお知らせ

町議会では例年4月に議会懇談会を開催しておりますが、今年は全国的に新型コロナウイルスの感染が拡大し、多数の人間が集まるイベント開催については自粛を余儀なくされ、議会懇談会についても事態が終息するまで開催を延期しております。

しかし、いまだに道内では感染者が連日のように発生しており、全国的にも感染の拡大が止まる様子を見えていないことから、非常に残念ではありますが、今年度の議会懇談会は中止することに決定をいたしました。

来年度以降、新型コロナウイルスの感染拡大が終息した後には、また議会懇談会を開催してまいりますので、その際は多くの町民の皆さんの参加をお待ちしております。



町で輝いている人たちを紹介します



(フットサル交流大会)

みんなの笑顔で

まちを元気に!

Vol.27 「佐呂間町サッカー協会」



(高校生)



(小学生・中学生合同練習)



佐呂間町サッカー協会は、佐呂間サッカー少年団、佐呂間中学校サッカー部、佐呂間高校サッカー部、(社会人チームの)サロマFCの4チームと、サッカー愛好者計59名で構成しています。

普段はそれぞれのチームごとに練習や大会等に出場したりしていますが、社会人チームのメンバーが少年団の指導をしたり、小学生、中学生、高校生が合同で練習したりと、それぞれつながりを持って活動をしています。

冬にはキッズフェスティバルやフットサル交流大会を開催し、幼児と高校生と一緒にサッカーを楽しんだり、職場や友人単位で参加する大人のチームがフットサルを楽しみながら、町内のサッカー愛好者の交流を深めることも、サッカーの普及に努めています。



(社会人チーム)



議員のしごと

先日、事務所で雑務にいらしている最中の出来事。裏口から「のりく、へびく!!、捕って〜!!」との聞きなれた隣人の声が!

何事かと外に出て見ると、1.5mほどの立派な蛇が悠然と通路を這っているではないですか!一体どこから?

事務所近辺で蛇に遭遇するなんて初めての出来事、捕ってと言われてもどうしたらいいものか…。

事務所の親方とあれだこれだどビビりながらもなんとか捕獲、山へ帰してあげました。(全て親方が(笑))

そう言えば昔の幼稚園、朝行くとプレイルームに蛇がいる〜っ!なんてことがあったような記憶が…。

幸運を招くと言われる蛇との遭遇、何か良い事ありますように!



高橋 紀久

編集		報会	
特別委員	委員	委員長	佐藤 昭男
委員	副委員長	副委員長	三田 真美
委員	委員	委員	小松 正義
委員	委員	委員	土田 剛
委員	委員	委員	山内 一弘